

行政事業レビューシート (環境省)

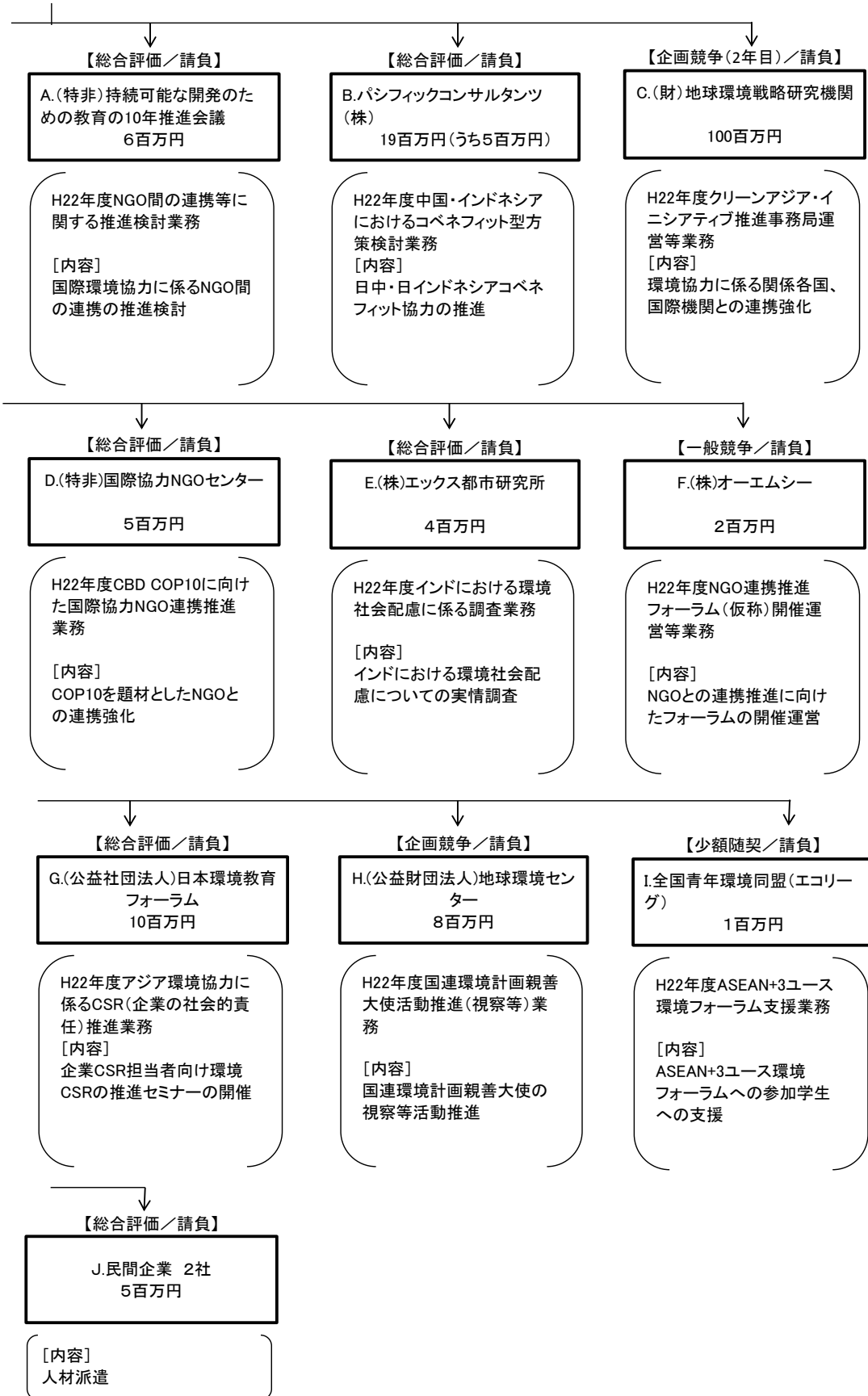
事業名	東アジア共同体環境協力推進費等	担当部局庁	地球環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	(※「事業の目的」参照)	担当課室	国際連携課国際協力室	室長 新田 晃			
会計区分	一般会計	施策名	2-2地球環境保全に関する国際連携・協力				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	「21世紀環境立国戦略」(平成20年6月6日、閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	途上国において増大する環境負荷を低減するため、東アジア首脳会議環境大臣会合、ASEAN+3環境大臣会合及び日中韓三カ国環境大臣会合等において政策対話を進めると同時に、各個別環境協力プロジェクトの形成及び推進を行うことにより、地球環境保全に関する国際的な連携と国際協力を推進し、もって世界全体での環境保全の推進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>1. クリーンアジア・イニシアティブ(CAI)の推進(平成21年度～)</p> <p>①全省的にCAI及び戦略的環境国際協力を推進するための統括的な事務局を設置し、i)環境国際協力情報収集及び連携推進、ii)概要調査及び緊急調査、iii)情報発信を行い、我が国の主唱するCAIの内外への浸透及びCAIの効果的・効率的な推進を行っている。</p> <p>②東アジア首脳会議環境大臣会合、ASEAN+3環境大臣会合及び日ASEAN環境協力対話等にもむけて、i)具体的な協力プロジェクト形成に向けた調査、ii)プロジェクトの検討、iii)プロジェクトのフォローアップを行った。</p> <p>③ASEAN地域において、環境的に持続可能な都市のモデル作りを支援することを目的に、モデル都市候補の選定、モデル都市プログラム作りの支援、キャパビル支援等を行った。</p> <p>2. 北東アジア環境協力推進費(平成13年度～平成22年度)</p> <p>日本とモンゴル間において、環境分野における対話の促進と具体的な協力事業を推進し、両国の協力関係の強化とモンゴルにおける環境保全の実現に寄与するため、第5回環境政策対話(開催地:日本)を行った。また、環境政策対話で取り上げられたエコツーリズムに関する協力を具体的に進めるため、調査活動を行った。</p> <p>3. 日中韓環境大臣会合(TEMM)及びTEMMプロジェクトの推進(平成10年度～)</p> <p>日中韓環境協力に係る全省的な取り組みを進め、日中韓三カ国環境大臣会合において十分な成果が得られるよう協力案件の形成及び各国間の調整を行う。また、当該会合で合意された三カ国共同行動計画に基づく各種協力プロジェクト(以下、「TEMMプロジェクト」)等を実施した。</p> <p>4. 日中環境協力基礎調査(平成21年度～)</p> <p>日本と中国における環境協力を強化し、低炭素社会に向けた取組についての相互理解の促進と政策提言を行うため、中央政府レベルでの取組を日中共同で研究を行った。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	58	252	277	216	176
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	54	252	277	216	176
	執行額	41	206	226	-	-	
執行率(%)	75.9%	81.7%	81.6%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	国際会議運営及びそれに資する業務が大部分を占めるため、達成度を数値で表すことは困難。	成果実績					
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国際会議運営及びそれに資する業務が大部分を占めるため、単位当たりコストを数値で表すことは困難。	活動実績(当初見込み)					—
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠	国際会議運営及びそれに資する業務が大部分を占めるため、単位当たりコストを数値で表すことは困難。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	15百万円	45百万円	クリーンアジア・イニシアティブの推進に関する業務については、現地調査回数等を見直すことにより、必要最低限の予算となるよう減額。また、日中韓三カ国環境大臣会合プロジェクトについては、新たに三カ国間で合意したプロジェクトを立ち上げると共に、既存のプロジェクトについては、必要最低限の予算となるよう減額。			
	政府開発援助環境保全調査費	142百万円	81百万円				
	環境保全調査等委託費	59百万円	50百万円				
計	216百万円	176百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>1. クリーンアジア・イニシアティブ推進業務の中には、ASEAN+3環境大臣会合やEAS環境大臣会合の運営業務など国際会議等の実施支援等が入っており、協力関係を縮小することは困難な状況にあるが、現状の水準を維持しつつ、より効果的・効率的な実施のための工夫を行う。</p> <p>2. 第2回日中韓首脳会合で三カ国の首脳が指示により、第12回日中韓環境大臣会合において「環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画」が策定されるなど、環境分野における日中韓の協力関係は、更に協力を強化することが求められており、その方向での見直しは随時必要であると考えられる。</p> <p>3. TEMMプロジェクトは、日中韓環境大臣会合での合意の下、各国が持ち回り開催と応分の負担を行うことが原則となっており、協力関係を縮小することは困難な状況にあるが、より効果的・効率的な実施を工夫する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>クリーンアジア・イニシアティブの推進等に当たっては、過去の実績等を分析し既存の知見を活かすことにより、予算額を節減すべき。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>人件費や現地調査回数等を見直し、必要最低限の予算となるよう、概算要求額を減額。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

1. クリーンアジアイニシアティブ推進

環境省
146百万円

クリーンアジア・イニシアティブの推進



2. 日中韓環境協力推進費

環境省
48百万円

日中韓環境協力の推進

【一般競争／請負】

K.(株)コングレG
19百万円

H22年度日中韓三カ国環境
大臣会合開催運営等業務

[内容]
日中韓三カ国環境大臣会合
開催のための運営業務

【一般競争／請負】

L.(株)ダブリュファイブスタッフ
サービス
8百万円

H22年度日中韓三カ国合同
環境研修実施運営業務

[内容]
日中韓三カ国の行政官を集
め、研修を実施

【一般競争／請負】

M.(株)ザ・コンベンション
3百万円

H22年度第10回日中韓環
境産業円卓会議実施事業

[内容]
環境産業円卓会議実施に
向けた調整及び運営

【総合評価／請負】

N.(学校法人)中部大学
5百万円

H22年度日中韓環境教育シ
ンポジウム及びワークショッ
プ開催検討等業務

[内容]
シンポジウム等開催に係る
中韓等調整及び運営等

【企画競争(2年目)／請負】

O.イデコ(株)
8百万円

H22年度日中韓三カ国環境
協力の情報発信等に関する
検討業務

[内容]
日中韓三カ国環境大臣会
合結果のパンフ、WEB作成
等

【少額随契／請負】

P.(財)地球環境戦略研究機関
1百万円

H22年度日中韓環境大臣
会合に係る資料作成等支
援業務

[内容]
日中韓三カ国環境大臣会
合開催にあたり資料作成
等

【一般競争／請負】

Q(株)ダブリュファイブスタッフ
サービス
3百万円

H22年度日中韓環境学生サ
ミット運営支援業務

[内容]
日中韓環境学生サミット実
施にあたっての運営業務

【少額随契／請負】

R.全国青年環境連盟(エコリー
グ)1百万円

H22年度日中韓環境学生サ
ミット開催検討業務

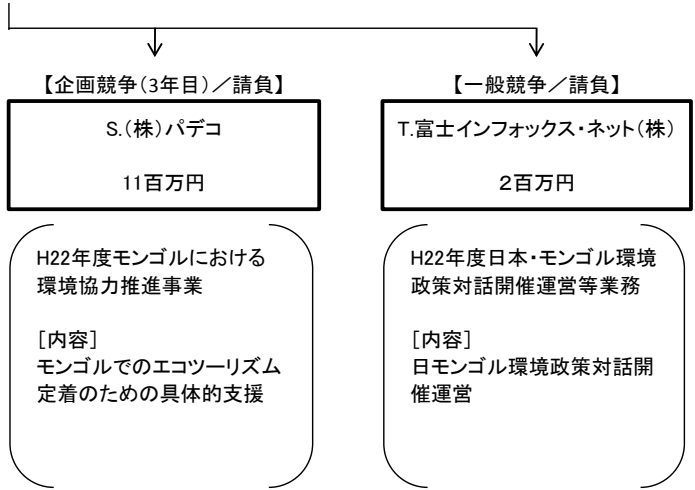
[内容]
日中韓環境学生サミット開
催にあたっての企画検討

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)(単
位:百万円)

3. 北東アジア環境協力推進費

環境省
13百万円

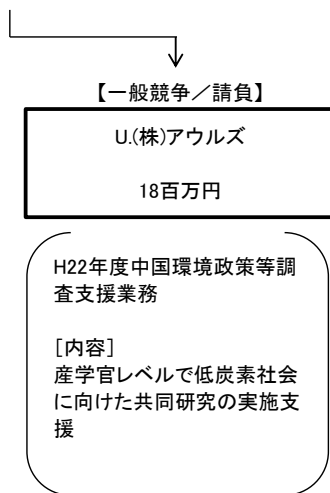
北東アジアにおける環境協力の推進



4. 日中環境協力推進費

環境省
18百万円

日中環境協力の推進



費目	使 途	金 額 (百万円)	L.株式会社ダブリュファイブスタッフサービス		
			費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事務員:26人日 研究員:63人日	2.7	会場費	研修会場、控室	1.5
諸謝金		0.9	宿泊代	研修生・ホテル代	1.7
旅費		0.4	食費	歓送迎会含む	1.0
消耗品費	文具、資料コピー代	0.1	備品費	PC、スクリーン等	0.6
賃金	会計、会議/フォーラム準備他	0.3	印刷製本費	テキスト等	0.3
借損料	PCレンタル、サーバー使用料	0.1	物品費	名札、バナー等	0.5
印刷製本費	チラシ印刷、配付資料、提言集印刷	0.3	旅費交通費	航空券・国内バス	1.0
その他	郵送費等、外注費、一般管理費、消費税	1.3	その他	翻訳、通訳、運営スタッフ、報告書、一般管理費、消費税	1.8
計		6.1	計		8.4
B.パシフィックコンサルタンツ株式会社			M.株式会社ザ・コンベンション		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	8人 合計15人日	12.2	平成23年3月16日に任意整理手続きに入ったため、聴取不能。		
旅費	海外調査旅費	2.4			
賃金	アルバイト雇用費	0.2			
印刷製本費	報告書印刷	0.4			
その他作業費		0.4			
業務委託費	現地調査	1.3			
一般管理費		1.3			
消費税		0.9			
計	他の予算事項と合算して契約を行ったため、本事項のみの支出内訳の作成は困難であったため、契約総額に対する内訳を記載。	19.1	計		3.0
C.財団法人地球環境戦略研究機関			N.学校法人中部大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	15人 合計1291人日	37.1	人件費	派遣職員人件費 2名	0.6
諸謝金	検討会出席謝金等	3.4	諸謝金	原稿執筆料、会議参加謝礼	0.7
旅費交通費	国内旅費、外国旅費等	17.5	旅費	国内(東京)、国外(北京) 7名	0.9
賃金	2人 合計281人日	5.2	雑役務費	原稿翻訳代(日英・英日)	1.5
雑役務費	和文英訳等	12.2	印刷製本費	報告書製本代	0.6
印刷製本費	報告書作成等	7.3	その他		0.1
その他	書籍代等	3.9	一般管理費		0.4
一般管理費	消費税含む	13.0	消費税		0.2
計		99.6	計		5.0
D.特定非営利活動法人国際協力NGOセンター			O.イデコ株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	4人	2.4	人件費	3人 合計160人日	4.80
諸謝金	講師謝金	0.3	印刷製本費		0.05
旅費	海外ゲスト旅費等	0.5	その他	発送費	0.01
消耗品費	文具等	0.1	外注費	翻訳・コーディング・編集デザイン作業	2.00
賃金	アルバイト雇用費	0.4	一般管理費		1.03
借損料	会場費	0.2	消費税		0.39
雑役務費	通訳・翻訳費	0.3			
その他	郵送費等、一般管理費、消費税	0.8			
計		5	計		8.3

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

E. 株式会社エックス都市研究所			P.財団法人地球環境戦略研究機関		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	国内調査、現地調査など	2.6	人件費	4人 合計8人日	2.8
旅費	海外調査旅費	0.6	旅費	国内旅費	3.8
印刷製本費	報告書印刷	0.1	雑役務費	和文英訳等	1.4
外注費	現地訪問アポ取りなど	0.1	印刷製本費	報告書作成等	0.3
一般管理費		0.4	一般管理費	消費税含む	1.3
消費税		0.2			
計		4.0	計		9.6
F. 株式会社オーエムシー			Q.ダブリュファイブスタッフサービス		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費		0.20	会場費	北京市内	0.1
諸謝金		0.60	旅費交通費	航空券・ホテル代	1.9
旅費	旅券、宿泊料	0.53	謝金		0.2
その他	懇親会費、食費	0.06	事前勉強会		0.1
借損料	会場費、会場設備使用料	0.27	運営スタッフ		0.1
雑費		0.01	一般管理費		0.1
賃金	アルバイト雇用費	0.07	消費税		0.1
計		1.74	計		2.6
G.公益社団法人日本環境教育フォーラム			R.全国青年環境連盟(エコリーグ)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	6人 合計150人日	4.1	人件費	4人 合計46人日	0.6
図書費	基礎的資料図書及び企業データ購入	0.2	旅費交通費	引率者渡航費(羽田⇄北京)、近郊交通	0.1
賃金	アルバイト時給 950×5人	0.2	借損料・会議費	開催地会場費・参加者用リフレッシュメント、カンファレンスブック印刷費等	0.1
通信費	アンケート郵送料(発送・後納・返送)	0.3	通信運搬費	当該国際電話料金等	
印刷製本費	アンケート用紙・返信用封筒印刷	0.1	印刷製本費	バナー(会議吊り看板印刷費)	
翻訳料・原稿料	日⇄英、事例紹介10社分	1.6	雑費	海外送金手数料	
外注費	ウェブサイト制作費、アンケート電話フォロー	2.0	保険料	引率者海外保険料	
その他	一般管理費、消費税	1.0	一般管理費		0.1
計		9.5	計		0.9
H.公益財団法人地球環境センター			S.株式会社パデコ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	3人 合計36人日	1.0	人件費	5人 合計115人日	3.0
諸謝金	報告会 講師	0.7	旅費交通費	外国旅費	2.0
旅費	海外出張	3.0	雑役務費	通訳、翻訳	2.0
備品費	パワーポイント		印刷製本費	報告書、マニュアル	1.0
借損料	会場費	0.8	賃金	現地コーディネーター	0.1
その他	通信運搬費、パンフレット印刷製本費、支払手数料	1.3	借損料	会場、車両借上げ	0.9
一般管理費		0.7	国内委員会開催費	委員謝金、交通費	0.6
消費税		0.4	その他	一般管理費、消費税	1.5
計		7.9	計		11.1

I.全国青年環境連合(エコリーグ)			T.富士インフォックス・ネット株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	4人 合計37人日	0.5	人件費	2人 合計20人日	0.50
諸謝金	事前勉強会講師謝金		諸謝金	施設見学	0.10
旅費交通費	参加者(派遣者)勉強会参加のための交通費、近郊交通費	0.2	旅費	航空券、宿泊(4泊5日)	0.70
借損料	事前勉強会会場費		消耗品費	看板、筆記用具、電池	0.10
印刷製本費	報告書製本費		その他	食事代(レセプション他)	0.10
保険料	引率者海外旅行保険		外注費	日蒙同時通訳	0.40
共同研究費		0.1	消費税		0.10
計		0.8	計		2
J.(株)ティムプランニング			U.株式会社アウルズ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人材派遣	人材派遣	3.0	担当者に対し、複数回にわたり内訳の提出を求めたが、担当者から内訳を得ることはできなかった。		
計		3.0	計		18.0
K.株式会社コングレG					
費目	使 途	金 額 (百万円)			
人件費	2名×3日	0.2			
旅費・宿泊費	国内(東京⇄札幌)のべ10名分	0.8			
備品費	コピー機、旗、会議用備品等	0.8			
消耗品費	コピー用紙	0.1			
借損料	会場費	8.3			
雑役務費	通訳者(日中、日韓)	1.4			
記録関係費	写真、録音等	0.1			
その他	機材費、通信費、看板装飾、車両、消費税	7.5			
計		19.2			

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	認定NPO法人持続可能な開発のための教育の10年推進会議	平成22年度NGO間の連携等に関する推進検討業務	6	1	77%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パンフィックコンサルタンツ(株)	平成22年度中国・インドネシアにおけるコベネフィット型方策検討業務	5	3	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球環境戦略研究機関	平成22年度クリーンアジア・イニシアティブ推進事務局運営等業務	100	2	98%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人国際協力NGOセンター	平成22年度CBD COP10に向けた国際協力NGO連携推進業務	5	1	77%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エックス都市研究所	平成22年度インドにおける環境社会配慮に関する調査業務	4	3	56%

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オーエムシー	平成22年度NGO連携推進フォーラム(仮称)開催運営等業務	2	8	56%

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人日本環境教育フォーラム	平成22年度アジア環境協力に係るCSR(企業の社会的責任)推進業務	10	4	70%

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人地球環境センター	平成22年度国連環境計画親善大使活動推進(視察等)業務	8	企画競争	—

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国青年環境同盟(エコリーグ)	平成22年度ASEAN+3ユース環境フォーラム支援業務	1	随意契約	—

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ティムプランニング	人材派遣	3	8	50%
1	(株)スタッフジャパン	人材派遣	2	2	70%

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)コングレG	平成22年度日中韓三カ国環境大臣会合開催運営等業務	19	6	64%

L.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ダブリュファイブスタッフサービス	平成22年度日中韓三カ国合同環境研修実施運営業務	8	2	72%

M.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ザ・コンベンション	平成22年度第10回日中韓環境産業円卓会議実施事業	3	2	56%

N.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人中部大学	平成22年度日中韓環境教育シンポジウム及びワークショップ開催検討等業務	5	1	57%

O.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	イデコ(株)	平成22年度日中韓三カ国環境協力の情報発信等に関する検討業務	8	3	99%

P.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球環境戦略研究機関	平成22年度日中韓環境大臣会合に係る資料作成等支援業務	1	随意契約	—

Q.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ダブルユファイブスタッフサービス	平成22年度日中韓環境学生サミット運営支援業務	3	1	92%

R.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国青年環境同盟(エコリーグ)	平成22年度日中韓環境学生サミット開催検討業務	1	随意契約	—

S.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パデコ	平成22年度モンゴルにおける環境協力推進事業	11	3	83%

T.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士インフォックス・ネット(株)	平成22年度日本・モンゴル環境政策対話開催運営等業務	2	4	53%

U.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アウルズ	平成22年度中国環境政策等調査支援業務	18	2	84%